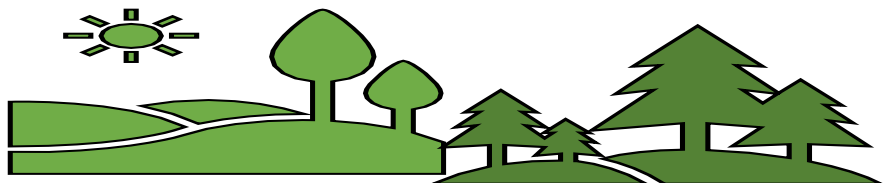


子育て家族支援研究会



公開研究会

***2019年 7月14日(日) 1時30分より**

***バンビオ(長岡京市中央生涯学習センター)6階 会議室2**

JR 長岡京市西口より 2分

***助言者 伊部 恭子先生 (仏教大学)**

一般社団法人 日本学童保育士協会
子育て家族支援研究会
大阪府中央区谷町7-2 2-2 0 2
TEL06-6762-8911

参加費 会 員 無料
非会員 1500 円

4月に開催した研究会には9名の参加者がありました。異動などで、新しい状況の中におかれ、戸惑いながらも子どもたちにとって一番いい環境をどう作るかを模索している内容が悩みとともに出されました。

今回、実践報告をもとに参加者で話し合っていきたいと思います。各自が抱えている課題や疑問につながっていきます。

多くの方の参加をお待ちしています。

〈第14回研究大会の成果と課題〉(伊部恭子先生) より抜粋

- ・支援の視点と方向において、何を重視しているかを共有しました。その底流には、長年にわたる実践の根源にある援助観・人間観が伝わってきました。
- ・「保護者と一緒になって子どもを育てていく」こと、「私たち指導員も育てられる」ということの大切さが語られました。「支援」は、「誰かが誰かのために」という一方通行のみではなく、「その人にとって」どうなのかを想像し、「したり、されたり」や、「お互いに」という相互性があり、ともに成長する喜びとその可能性があることを確認する機会となりました。
- ・忙しい中でややもすれば怠りがちな「記録」を地道に継続することが、子ども一人ひとりを知り、子ども同士の関係性や家族の状況を理解し、支援の視点や方法、計画のあり方につながっていきます。記録はまた、指導員の実践の省察や、チーム・組織の在り方にも活かされます。